

# 夕張団オンライン総会開催

～動画を視聴し総会参加しましょう!～



少年会員のちかい 藤田平和くん



開会のことば 幌部隊 藤田若葉さん

育成会長のあいさつ



大人鼓笛演奏



## 夕張の道 写真集

創立～令和3年迄を見る



新会長より  
9月4日の会長就任奉告祭には、夕張に繋がる全ての皆様方より真実のお心寄せを賜り、また実行委員会の皆様が予防策を徹底して下さいましたお陰により、緊急事態宣言下の緊張の中にも、親神様へ御奉告のおつとめを陽気に勤めさせて頂く事が出来ました。  
さて、9月20日には私が就任させて頂いて初めての少年会総

会がオンラインで開かれました。子供達が教会に集まって皆で楽しく遊ぶ行事が出来なくなつて、もう一年半を超えました。せめて画面上で会いたいと、団長先生はじめ、スタッフの皆様が本当に頑張つて企画、準備をして下さいました。どなた様も是非動画を視聴して頂けたら幸いです。  
もう一つお知らせがあります。今月、夕張創立以来124年の記録写真と歴史のあらましを収めました「夕張の道 写真集」が発刊されます。私自身も見た事

奉告祭の準備の為、少しずつ殿内の模様替えが行われており、障子を全て外した状態での祭典となつた。9時半より開扉献饌のち祭文奏上。祭文にて大教会長は、本来ならばこどもおぢばがえりや学生生徒修養会のある月で、それらの行事を含め多くの会活動を見送らねばならない事に言及し、そんな今こそ身近な人に親身に接する事でにいがけを進めていきたい、とお誓い申し上げた。  
その後座りづとめ・十二下りのてをどりが勤められた。奉告祭前の最後の月次祭で、役割も当日に準じたものが当たっており、奉仕員一同緊張感を持って

八月月次祭の様相  
記録的な猛暑から少し気温は下がったものの、未だ暑い最中の8月15日、大教会で月次祭が執り行われた。  
奉告祭の準備の為、少しずつ殿内の模様替えが行われており、障子を全て外した状態での祭典となつた。9時半より開扉献饌のち祭文奏上。祭文にて大教会長は、本来ならばこどもおぢばがえりや学生生徒修養会のある月で、それらの行事を含め多くの会活動を見送らねばならない事に言及し、そんな今こそ身近な人に親身に接する事でにいがけを進めていきたい、とお誓い申し上げた。  
その後座りづとめ・十二下りのてをどりが勤められた。奉告祭前の最後の月次祭で、役割も当日に準じたものが当たっており、奉仕員一同緊張感を持って

# ひきよせ

発行所  
天理教夕張大教会  
〒068-0029  
北海道岩見沢市9条西6丁目  
☎ 0126-22-1248  
FAX 0126-23-7275  
yubaridai146@gmail.com

ホームページ  
bariten.main.jp

LINE 友達登録  
お願いします

お知らせ

11月15日(月) 月次祭、新穀感謝祭  
祭典後、秋季霊祭  
祭典の様相をライブ配信します

真剣に勤めていた。喜多先生からご指導があり、この日のお手ふりはビデオ撮影されていた。お盆の時期という事もあり、参拝者の中には久々に見える顔触れもあった。



講話前には、前方に設置されたスクリーンに少年会が計画した『おとなの鼓笛』動画、また奉告祭当日にオンライン上に放映予定の夕張ヒストリー動画の冒頭が流されて、参拝者からは感嘆の声が上がった。

その後辞令交付があり、少年会の新しい隊長が10名、任命された。

講話には大教会長が立ち、「コロナ禍の情勢の中、互いに気を付けながら、各教会毎で集まって、種々ひのきしんを進めて頂きました。お陰様で世話人先生をお迎えする準備が、ほぼ整って参りました。誠にありが

とうございます。

奉告祭当日は、奉仕員、参拝者それぞれに気を付けて頂かなければならない事が、たくさんあります。煩わしいと感じるかもしれませんが、今後事務局からの発表に即して、当日をお迎え頂きたいと思えます。どうかよろしくお願いいたします。

ある日のおつとめで娘が『今できることって、あるの?』と聞いてきました。ドキッとしましたが、『何も出来ない時でも、誰かに親切にすることは出来るよ』というお納得してくれたようでした。こんな時こそ、私達大人がそのような姿を子ども達に見せる事こそ、今できる最大の縦の伝道ではないでしょうか」と話された。

祭典後、奉告祭当日におてふりの役割に当たっている奉仕員は、食堂にてこの日に撮影されたおてふりの様子を視聴し、当日に向けて修正点を確認していた。



### 九月月次祭の様相

奉告祭後、初めての月次祭は、秋の香りを少しづつ感じる9月15日に勤められた。

9時半より開扉献饌。引き続き祭文奏上。その後座りづとめ・十二下りのおつとめが勤められた。奉告祭という大きな務めを終え、ホッとした安堵感と、改めて次の一步を、との気持ちが入り混じった様子の一同。真剣なおつとめの中にも、緊張のほぐれた柔らかな表情で勤める奉仕員が多かったように思う。

講話にはまず、奉告祭にて事務局長を務めた、高橋太志役員が立ち「この度の会長就任奉告祭では、感染対策にご協力、ご参拝下さいまして、ありがとうございます。喜多先生を含め78名のご参拝でした。

この奉告祭に向けて、早くから教会単位で準備ひのきしんにお越しくだされ、青年会には密にならないよう心を配りながらの作業、また、事務局の皆さんには決定も遅く変更もある中、つとめて頂きありがとうございます。合わせて神饌物や生活用品の御供や提供感謝しております。

直前まで色々ご意見やアドバイスを頂きながら進めてまい

りましたが、8月1日にはタイヤがパंकシ会議に遅れました。その8月1日の内統領先生の挨拶の1節を読み、心が定まりました。「この難しいいまこそたすけ一条の姿に立ち返りたいと思うのであります。いまこそおたすけを励ませていただきたいと思うのであります。」

たすけ一条とは、「人にたすかつてもらいたいという心ひとつで、日々を歩むこと」と思います。私たちの判断や感染対策には必ず、見えないどこかたすかりがあるはずと信じ、この言葉を心の定規としてその後つとめてまいりました。

120周年の参拝者は80名余りと「ひきよせ」に書いておりました。真柱様のご揮毫は「たすけ一条」であったとも記載されて



います。今思うと新しい会長さんのスタートは、120周年のご揮毫「たすけ一条」からスタートしていたと勝手に思っています。奉告祭当日の朝、歩道を掃いていた時、『天理教さん、何してるの?』と市民に声を掛けられました。やはり注目しているのかと思いましたが、その方は『今日、ヤキトリするの?』と言われました。ひきよせ大会のイメージだろうな、と思う反面、『今日はおつとめするの?』と言われたらと思います。私たちのたすけ一条のつとめ方を見直す言葉でした」と話した。

次に岩佐善昭・志加ノ谷分教会長が立ち、「今年、志加ノ谷の教会の畑で、立派な長ネギが育ちました。大した世話も出来ていませんが、頂いた立派な苗と、十二分に下さった神様のお恵みからか、青々としたネギが出来ました。

先日の奉告祭へ向けて、時間の許す限り大教会に足を運んでおりました。そして、7月末から教養掛の御用もありました。この時に少し心配したのは、畑のネギのことでした。全国的にほとんど雨が降らず、前会長夫婦に世話までお願いできず、今年の収穫は難しい、と思っていました。



村へ戻り、自らの田ではなく、人様の田ばかりに水を入れ、奥さんがかんろだいの近くの水溜まりから水を頂いて、我が家の水をまぜて、藁しべで我が田の周囲へ置いて廻った。すると不思議なことに、我が田一面に水がいつぱい。村中は不作であったその年、榊井の家では多くの収穫をいただいた、という逸話です（逸話篇 122 理さえあるならば 要旨）。

私のつとめは、榊井先生の誠真実とは比べられないものでしょう。しかしその中にも、志加ノ谷の畑に青々と育つご守護の姿から、この逸話を思い起こし、親心に触れたことが、本当にうれしい、ありがたいと感じています。

足りない部分はしっかりと守護してやるから、我が身我が家の都合は捨てて、人だすけに励みなさいというメッセージをいただいたように感じるのです。

筒井敬一先生曰く、信仰には感動が必要である、と。作物が育つという過程の中で、丹精してくれた人、また自然への感謝それは世間一般の道徳で学び、心を育てることはできます。しかしたった一本のネギから、何とか御用を、との思いで努力を重ねていけば、親神様の親心に

触れ、感動ができるという心の成人。この喜びは、お道の信仰でしか味わうことができないものであり、その感激を後世に繋いでいくことが、真の陽気ぐらし世界実現への道筋ではないだろうか、私はそう信じてます」と話した。

大教会長は挨拶で改めて奉告祭への一同の働きに深謝された。また10月に発刊される写真集を紹介され、参拝者に向けて購入を薦められた。

その後、藤田豊少年会団長より、20日に開催されるオンライン少年会総会の案内があり、広く参加を求めた。

終了後、会長夫妻から各教会に記念品の祭文袋が手渡された。



『お姉ちゃんたち、神殿でお参拝しても大丈夫だよ。』

奉告祭カウントダウン、会長宅2階でお勤めを着付けていた『三人の姉』たちは大和新会長の階下からの呼び掛けに、慌ただしかった動きを止めた。

(本当に大丈夫?) (迷惑になるんじゃ) 顔を見合わせる。

折しも関東地方は緊急事態宣言下。関東在住の三人はこの日に備えて体調管理も事前検査もしたけれど、不安要素はゼロではなかった。9月4日当日、最後の検査。陰性を確認して、その上で姉たちは『基本リモート参拝』と決まっていた。

神殿に上がれるのは、三人ともにお役目を頂いている後半の女鳴物の時だけ。

(今回の奉告祭では全体的に参加者が限られたため、おつとめ奉仕者も不足していた。後半の女鳴物は、そのために私たちがまさかに頂いた大役だった)

出番のときだけは神殿に上がることが許されるが、それ以外では、会長宅エリアから出るこ

とも自粛、出番が終わったら速やかに神殿を下がり決められた区画に戻る、という取り決めになつていた。

お参拝に来て下さった方々と挨拶を交わすことも、できそうにない状況。それでも、新会長と運営チームの全力の感染対策、様々な要因を考慮に入れリアルタイムに対応しようと奔走する姿に、姉たちも十分状況を理解し納得していた。そこへ、

『祭儀式から神殿に来て くれて大丈夫だよ。』

『お参拝の方々が、会いたいわって 言っ下さってる。』

突然のお許しに戸惑う。

大切なシーンをリモートでなく この目で見られる(喜び)

親しい、懐かしい 人たちに会える(期待)

不快にさせてしまったら どうしよう(不安)

三人は階段をそろそろと降りた。緊張しながら廊下を縦になつて神殿へと進む。等間隔に整然と並ぶ椅子。ぱらぱらとこちらに向けられる眼差し。その暖かさに安堵し落ち着きを取り戻すと、各々位置を定め居住まいを正す。

奉告祭が開幕した。

### 少年会 夕張団オンライン総会 まだご参加下さい!

9月20日、夕張団の総会をYouTube生放送で配信した。

コロナの流行状況をみて開催方法を決定することとしていたが、まだ会員が一箇所に集まって開催できないと判断し、オンライン開催のプログラムを立て、急ピッチに準備を進めた。

今回総会の参加方法は、大会ホームページ内の少年会ページで総会動画を視聴して頂き参加してもらうこととした。

総会動画配信の日は生放送を視聴して参加してもらった。10時より、大教会殿内から岩佐委員の司会進行で放送を開始し、参拝の後、藤田若葉さん（幌部隊）の開催のことばがVTRで流れ総会がスタート。藤田豊団長は挨拶で、コロナ禍の中で始めら



れた夕張団の様々なオンライン企画へ参加、視聴してくれた皆さんにお礼を述べた。

新育成会長、藤田大和大教会長様が御告辞を代読され、

「会長さんや少年会の先生方から聞かせていただく神様の教えをしつかり守り身近な自分のできるひのきしんを実行し周りの人々のことを思いやることを心がけてほしいと思います。」（抜粋）と述べられ、親子でおちばに帰られることをお願いされた。

御告辞に続き、育成会長のお話があり、御告辞の内容に触れながら、育成会員である大人の信仰姿勢を少年会員へ写していることについて自らが心がけていること、大人が子ども達と遊ぶことから育成を始めることなどお願いされた。

続いて、司会に紹介され、藤田平和くん（直轄隊）により「少年会員のちかい」が宣誓され、以前、冬のお楽しみ会で開催されたクイズ番組の続編「夕張ふしぎ発見II」が流された。

閉会のことばに、梶川東吾くんが（新生生隊）VTR出演し、鼓笛大人演奏動画を流して放送終了した。

#### ■総会は10月末まで参加出来ます。

（動画視聴により参加です）

まだ動画を見ていない方、少年会員がいましたら、是非視聴のオススメをお願いします。（クイズの回答も10月末まで受付けています。）



→クイズ「夕張ふしぎ発見II」裏庭・薪小屋スタジオにて

### 「夕張の道」写真集」発行

大教会史「夕張の道」第一巻、「夕張の道」年譜・部内編に続いて、今回六代会長就任の機会に「夕張の道」写真集が発刊されました。頒価 2千円

所属の教会を通してお申し込みください。

11月末締切、12月15日配布予定

### 庶務部 8・9月

- ▽詰所ひのきしん 阿部恭子（直轄） 8・15
- ▽修養科961期修了 宮本勝雄（馬追） 9・27
- ▽おさづけの理拝戴 宮本勝雄（馬追） 9・15
- ▽詰所住み込みひのきしん 阿部恭子（直轄） 9・15
- ▽詰所教養掛 9月 佐藤靖子（上富良野）
- 10月 岩佐善昭（志加ノ谷）
- 11月 藤田亮平（幌都）

### 大教会日誌抄

- 8月
- 1日 たすけ推進会議 奉告祭準備会議
- 2日 会長、教区支部長会議り モート参加
- 5日 会長、札幌、千歳方面教会 会参拝
- 6日 会長、部内教会参拝
- 7日 会長夫妻、道東方面教会 参拝（～9日）
- 9日 前会長、帰会
- 11日 国道みまもりたい活動
- 12日 会長、幌都分参拝
- 14日 月次祭準備
- 15日 月次祭
- 9月
- 1日 たすけ推進会議 奉告祭準備会議
- 3日 喜多世話人先生来会
- 4日 六代会長就任奉告祭
- 7日 前会長夫妻、札幌へ
- 14日 月次祭準備
- 15日 月次祭
- 17日 前会長夫妻、札幌へ
- 19日 会長夫妻、札幌月次祭へ
- 20日 少年会オンライン総会 写真集編集作業（～22日）
- 23日 会長、おちばへ
- 24日 会長、本部神邸当番
- 26日 前会長、おちばへ
- 27日 本部月次祭 遥拝式
- 28日 会長、かなめ会
- 29日 前会長、帰会